



2020年2月～2021年1月実施

学校インターンシップ 学生受入のお願い

大阪教育大学では、実践力を備えた将来の教師を育てるため、学校インターンシップをおこなっています。本学の学校インターンシップでは、大学で学ぶ理論と学校現場での実践を結びつけ、学校現場での対応力と実践的指導力を高め、教員に必要な資質を養います。近い将来地域の教師となって、学校教育を担う人材の育成をめざします。

現在、大阪を中心とした近畿各府県下の小学校・中学校・高等学校において、学生自らの居住地およびその近辺の学校現場で活動し学ばせていただいております。

本学学生の受入をお願いします。

学校インターンシップによって学生をこのように育てます

本学では、学校インターンシップに参加する学生に事前・事後指導および必要に応じて中間指導を行っています。学校インターンシップに参加することで、自分が抱える課題をどのように克服していくか、どのように成長していくことができるかについて、ふりかえりの重要性に着目させながら取り組ませます。

教育実習と同様、学校インターンシップを教職に就く将来世代を育てる重要なプロセスと位置づけています。

その1 理想の教師像を持たせる

学校インターンシップに参加し、先生方が仕事をされている姿を見て、学生は理想の教師像を持つようになると言われています。理想の教師像を持つことができるようになると、それが自分にとっての1つの目標になります。理想の教師像に近づくためにはどのような努力や学修が必要かを考えさせ、これまでの自分の学修をふりかえらせませます。

その2 大学で学んだことと結びつけさせる

大学で学ぶ理論と学校インターンシップで経験する実践を結びつけることが大切です。教職の専門性を身に付けるためには自分の経験をふりかえり、意味づけができるようになることが重要であることを指導します。

その3 人と関わることに自信を持たせる

教職に関心を持ち教員養成課程に進学したものの、人との関わりに自信を持たず、教職への志望を迷っている学生がいます。調査結果から、その原因は、大学入学までに人と関わる経験が十分でないことと推察されています。このような学生が学校インターンシップに参加し、学校で子どもや教師と関わる経験を通して自信を持つことができるようサポートします。

その4 教師志望の学生のモチベーションをさらに向上させる

学校インターンシップに参加すると教員採用試験に合格したいという動機が高まり、よく勉強するようになり、その結果試験に合格する傾向があるといわれています。教育実習だけではなく、学校インターンシップに参加して学校での実践的な学びを増やすことで、学生が希望する自治体で教師になるという夢の実現につなげます。

学校インターンシップの概要

大阪教育大学の学校インターンシップの目的

学生が子どもや教職についての理解を深め、教師としての実践力を養うために、学校などの現場での実践的な活動の経験を充実させるとともに教育実習を補完します。

受入をお願いする学生

以下の学生の受入をお願いします。2020年度は2回生、3回生、4回生の受入をお願いします。

課程・専攻・コース		回生	受入をお願いする校種
学校教育教員 養成課程	小中教育専攻	2 3 4	小学校、中学校、高等学校等
	中等教育専攻		
	特別支援教育専攻		
養護教諭養成課程			
初等教育教員 養成課程	幼児教育専攻	大学と学校が直接受入を調整するため、 学生の受入をお願いすることはありません。	
	小学校教育		
	専攻	昼間コース	2

学生が、次の条件に当てはまる学校を訪問し、学校インターンシップの受入を依頼します。

- ① 学生が居住する市町村あるいはそれを含むブロックや地域
- ② 学生の居住地と本学との通学経路上やその周辺の市町村
- ③ 教員採用試験の受験を希望する自治体

※本学から概ね片道50km程度以内の市町村に限ります。

活動期間と時間

活動期間	期間中の活動時間
2020年2月～2021年1月	60時間

※年度初めの4月より2ヶ月早め、2月から活動を開始することができるようにしています。4月・9月あるいは5月の連休明けからなど、受入校で活動開始日を設定できます。

※活動時間の計算には、1時間未満は切り捨てます。

※60時間を超えて活動の継続を学生が申し出た場合、受入の可否を学生に回答してください。本学「学校サポート活動(大学公認ボランティア)」に位置づけます。

活動パターンと活動時間帯

活動パターン	活動時間	活動が可能な時間帯
①短期活動型	大学の春休みや夏休みなどの休暇中	概ね8時～17時
②長期活動型	大学の講義期間中の毎週特定の曜日	
③短期と長期の組合せ型	①と②を合わせた期間	

※大学での講義や教務関連行事等がある日時は学校インターンシップの活動はできません。

※新年度になると、学生の大学の時間割が変わるため、活動日時の再調整が必要になる場合があります。

費用負担

学校インターンシップは本学の学位プログラムにおける授業科目に位置づけられていますので、教育委員会や学校、本学が学生の学校インターンシップの活動に対して費用を支払うことはありません。交通費や昼食代、その他の経費は学生本人が負担します。

》 活動内容

本学では、学校インターンシップの活動を次のように定めております。

大阪教育大学が定める学校インターンシップの活動

1. 学校インターンシップの内容は、受入校の管理監督下でその指示により行われる、次のような活動の補助とする。
 - (1) 各教科・領域（特別活動、自立活動）、総合的な学習の時間などの授業や活動
 - (2) 朝の学習や放課後などの時間における学習指導
 - (3) 運動会・文化祭など、学校行事
 - (4) その他、学校の教育活動
2. 宿泊を伴う活動は行わない。
水泳指導、クラブ活動、配慮を必要とする児童・生徒等への対応等も学生単独では行わない。

具体的な活動には例えば次のようなことが考えられます。

〈子どものかかわり〉

個性や生活背景など、多様な子どもへの理解を深め、対応力を育てます。

- 休み時間に子どもと遊ぶ
- そうじなどの作業を一緒に行う
- クラブ活動や行事などで子どもと活動する

〈教師の仕事の補助、支援〉

授業や学級指導に加え、多様な職務内容に対する理解を深め、視野を広げます。

- 子どものノートや課題提出物を整理する
- 授業で用いる教具などを準備する
- クラブ活動や行事などの準備を行う

》 受入校へのお願い

学校インターンシップは教育実習とは異なりますので、教育実習のように学生の指導や評価をお願いすることはありません。

学生に出席表を持たせ、活動時間数を記録させます。また、毎日の活動を学校インターンシップ日誌に記録させます。学生は記録した日誌を担当の先生に提出し、サインか捺印をいただきます。60時間の活動が終わる活動最終日には、学生は活動時間の集計を行い、校長先生の署名、捺印をいただきます。

出席表と学校インターンシップ日誌は紛失による情報漏えいを避けるために、活動期間中受入校で預かっていただきます。

学校へは公共交通機関を利用するよう学生に指導していますが、学校や自宅の所在地、大学への通学経路などによる事情から、自転車やバイクでの通学可否をご相談させていただく場合があります。

》 本学での学生への指導・支援

本学は、学校インターンシップの開始前に事前指導を行い、活動の目標設定、個人情報の取り扱いや守秘義務、心得やマナーなどを指導します。また、活動期間中にはフォローが必要な学生を中間指導し、終了後には事後指導を行い活動をふりかえらせます。

学校インターンシップの活動期間中、学生には定期的に自分の活動状況を指導教員に報告させ、指導教員は必要に応じて指導や支援を行うほか、学生の不適切な行為などが発生した場合には、本学の教員が受入校を訪問するなどして対応します。

》 誓約書の提出と保険の加入

本学は、学生に守秘義務や個人情報の取り扱いなどについての誓約書を受入校に提出させます。また、全学生に傷害保険及び賠償責任保険に加入させており、学校インターンシップの活動に係る事故等については、それらの保険を以って対応します。

》 学校インターンシップと教育実習の接続

本学では、実践的な学修を接続させたいとの考えから、学校インターンシップ受入校で、学生が翌年度の教育実習の受入を依頼させていただく場合があります。

教育実習には主免許取得のための教育実習（8月下旬から10月頭までの間に3週間、3回生が実施）と、副免許取得のための教育実習（5月上旬から11月上旬までの間に2週間、4回生が実施）があります。小学校・中学校・高等学校では2020年度の学校インターンシップと2021年度の教育実習が接続します。

学生が教育実習の受入をお願いした場合は、実習期間や時期を確認のうえご検討いただき、学生が持参します所定の内諾可否書でご回答をお願いいたします。

内諾後は、改めて実習前年度の秋以降に大学より正式なご依頼状を送付いたします。

2020年度学校インターンシップ実施の流れ

学校インターンシップ実施に向けての基本的な流れは次の通りです。



※1 【受入校の情報提供】(7頁参照)

下記のURLから受入情報を入力してください。

http://osaka-kyoiku.ac.jp/_file/kyomu/gi.htm

WEB入力ができない場合は、以下にE-mailで受入票をご請求ください。エクセルファイルをお送りします。

受入票請求先:教育実践支援ルーム(担当:今川・水本) E-mail:epsroom@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

※2 【学校インターンシップ受入承諾書】(8頁参照)

学生が受入校に持参します。受入が決定した場合は、活動内容等を学生が記入しますので、記入内容をご確認のうえ、署名・押印後コピーをお取りの上、保管ください。原本は学生が大学に提出します。

※3 【誓約書】(9頁参照)

学生が持参しますのでお受け取りください。

※4 【学校インターンシップ日誌・出席表】(9～10頁参照)

学生が持参します。毎回学生が記入した内容をご確認いただき、サイン又は押印願います。また、最終日に出席表に署名・押印をお願いします。

※5 【教育実習の受入】(11頁参照)

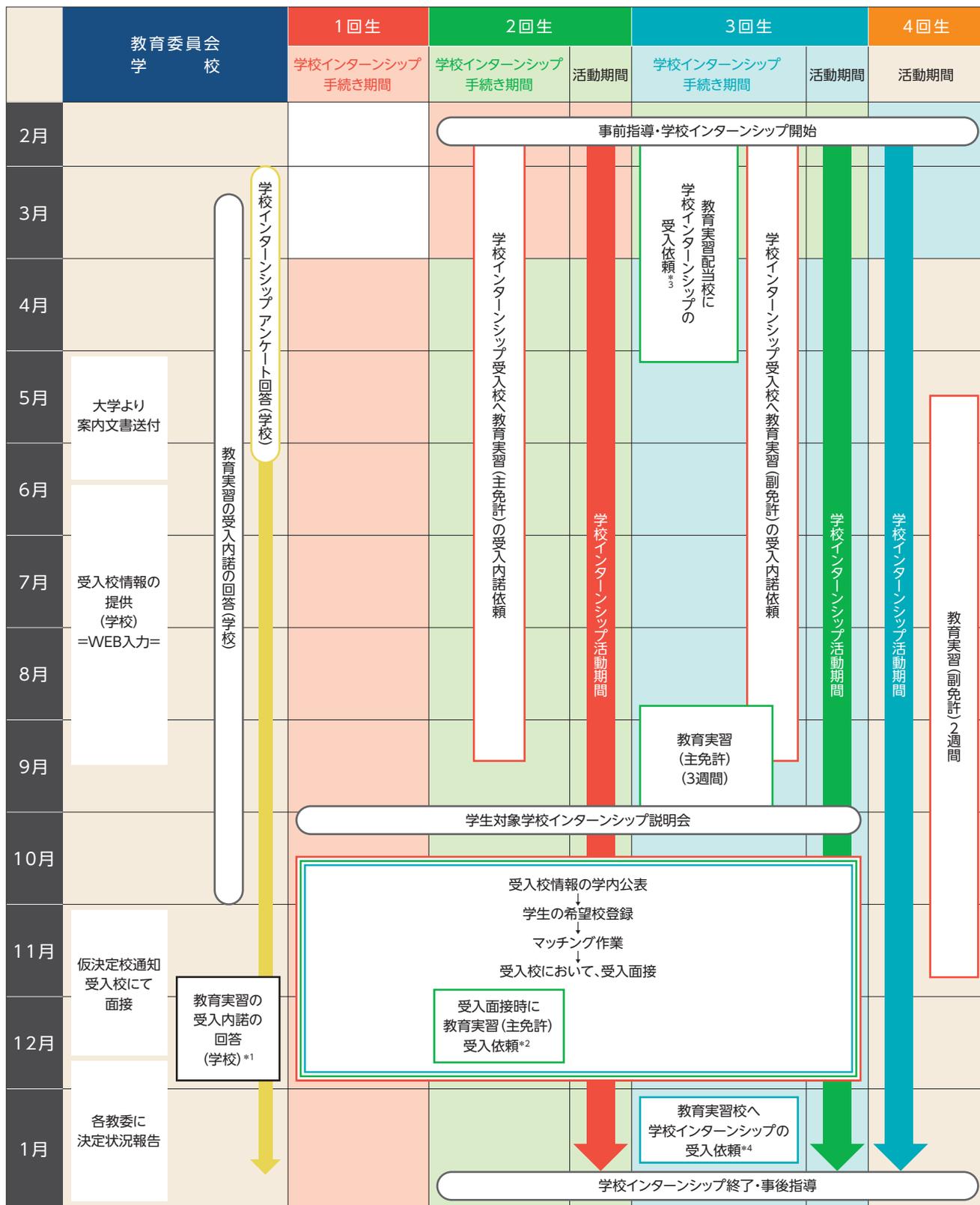
学生から受入校に教育実習の受入を依頼させていただく場合があります。

学生が「教育実習受入願」と共に提出します「教育実習受入内諾可否書」に記入・押印のうえ、

2020年度実習の学生は2019年12月末までに、

2021年度実習の学生は2020年10月末までに本学にご送付ください。

▶▶ 学校インターンシップ カレンダー



(注)

- *1 内諾についてご検討いただき「教育実習受入内諾可否書」を本学にご送付ください。【2019年12月回答済】
- *2 3回生実施の学校インターンシップの受入依頼時に2020年度教育実習(主免許)の受入をお願いする学生がおります。
- *3 2020年度教育実習配当校に3回生での学校インターンシップの受入をお願いする学生がおります。受入いただける場合は「学校インターンシップ受入承諾書」を学生にお渡しください。【2020年3月～5月】
- *4 2020年度教育実習の終了したのち、4回生実施の学校インターンシップの受入をお願いする学生がおります。

Q1. 受入学生に何をさせればよいのか?

A1. 教科指導の教員の補助、学校行事での支援、授業中配慮を要する子どもの個別支援、休み時間の子どもの見守り、提出物の点検やプリントの丸付け、給食・清掃活動の補助、放課後学習や部活動の支援・指導補助、外国人児童生徒の支援・指導補助などが考えられます。
学生は大学で、1回生から教職の基礎を学修し始め、2、3回生で各教科の指導法などの教職科目を学びます。

Q2. 「学校インターンシップ」の受入時期はいつか? また、その時期以外で受入れることは可能か?

A2. 「学校インターンシップ」の受入時期は、2月から翌1月までになります。その時期以外で受入れる場合は、「学校サポート活動(大学公認ボランティア)」として受入れてください。
なお、1月までに60時間の活動時間を満たさない場合は、大学の担当者に相談するよう学生にご指導ください。

Q3. 受入学生は、傷害保険等に加入しているか?

A3. 全ての学生が、学生本人の傷害はもちろん、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊させたりした場合の損害賠償を補償する保険に加入しています。

Q4. 受入学生を60時間の活動期間を終えてからも引き続き受入れることは可能か?

A4. 「学校インターンシップ」は60時間としていますので、学生が60時間を超えて活動の継続を申し出た場合、受入可否を学生に回答してください。受入れていただける場合、その活動は「学校サポート活動(大学公認ボランティア)」の位置づけになります。学生は本学において「学校サポート活動(大学公認ボランティア)」の手続きをする必要がありますが、受入校は手続きや本学への連絡などは必要ありません。

Q5. 「学校インターンシップ」は60時間未満では受け入れられないのか?

A5. 1か所で60時間の活動が原則です。しかし、事情によっては複数校で合計60時間でも認める場合があります。

Q6. 受入学生に謝金を支給してもよいのか?

A6. 「学校インターンシップ」は無報酬・交通費自己負担になっていますので、謝金等は支給しないでください。「学校サポート活動(大学公認ボランティア)」は特に制限がないので、謝金を支給していただいて結構です。

Q7. 受入学生に対する指導謝金を大学に請求してもよいのか?

A7. 「学校インターンシップ」「学校サポート活動(大学公認ボランティア)」とも、受入学生に対する指導謝金はお支払いしていません。ご了承願います。

Q8. 受入学生の態度が悪い場合や、授業補助などの役割が果たせないと判断した場合などは、受入れを途中で打ち切ってもよいのか?

A8. 大学にご相談ください。協議のうえ打ち切り又は継続等を決定いたします。

Q9. 受入学生から教育実習の受入依頼を受けたが断ってもよいのか?

A9. 断っていただいて差し支えありませんが、本学では、学校インターンシップと教育実習を接続させ、実践的な学修を継続的に行うことで、学修効果を高めようと考えています。支障のない限りご協力をお願いいたします。

学生受入票のWEB 入力について

学校インターンシップ登録フォーム

http://osaka-kyoiku.ac.jp/_file/kyomu/gi.htm

登録画面

大阪教育大学 学生受入票

柏原キャンパス [学校インターンシップ] 用
学生がこの受入票を見て受入校を選びます
11月下旬以降、学生が直接学校に連絡します

設問1 本校の紹介

学校名 例：〇〇市立 △△学校

担当者職名

担当者氏名

担当者連絡先 (E-mail 等)

郵便番号

住所

T E L

F A X

U R L

最寄り駅 例：〇〇線 〇〇駅

駅からの距離

●学校規模

通常学級 (クラス数)

通常学級 (人数)

特別支援学級 (クラス数)

特別支援学級 (人数)

●本校が力を入れている教育・研究活動、地域連携 等

設問2 本校の要望

●受入期間等

長期活動型の場合

期間・曜日・時間等 例：2月～12月 毎週木曜

短期活動型の場合

期間・曜日・時間等 例：9月 運動会前 1週間程度

その他 例：長期休業中のクラブ指導補助

上記のURLを開き、必要事項を選択又は入力のうえ、最下の「送信」をクリックしてください。
確認画面が出ますので、確認のうえ最下の「この内容で送信する」をクリックしてください。

●活動内容

授業の補助

放課後学習の補助

運動会等の体育的行事の補助

文化祭等の学芸的行事の補助

部活動の補助

クラブ名

その他

●インターンシップ生への要望等

●受入可能人数 (5人を上限にご記入ください)

設問3 受入校への通学手段に関して、本学は原則公共交通機関としておりますが、それ以外に可能な通学手段がございましたらお聞かせください。

公共交通機関のみ

自転車

原付バイク

相談に応じる

本学では、2019年度の教育実習より、可能な範囲で学校インターンシップ設問4と教育実習の接続を実施してまいります。教育実習との接続についてお聞きします。

●貴校では教育実習を受入れていますか

卒業生のみ受入れている

卒業生でなくても、学校インターンシップを経験した学生については受け入れる

卒業生以外も受入れている

受入れていない

●受入れている場合の受入期間

6月もしくはその前後

9月もしくはその前後

相談に応じる

その他

アンケート作成支援サービスを[こちら](#)で実施しています。
スマートアンケート
SmartSurvey

WEB入力できない場合は、以下にE-mailで
受入票をご請求ください。

エクセルファイルをお送りします。

受入票請求先:

教育実践支援ルーム (担当:今川・水本)

E-mail :

epsroom@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

2020年度（活動時期：2020年2月～2021年1月）学校インターンシップ受入承諾書

＜学生記入欄＞		記入日： 年 月 日	
大学・学部	大阪教育大学 教育学部	ふりがな	回生
学籍番号		名前	回生
電話番号 (連絡がつかずやすい携 帯電話が望ましい)		課程・専 攻・コース	
住所		E-mail	
通学経路	〒 (自宅と受入校の間の通学経路を記入) 通学時間：およそ()分 ※自転車、原付バイクでの通学は、受入校の校長先生に許可された場合のみ可能です。		
受入校で学校イン ターンシップに取り 組むにあたっての 抱負			

上記の学生を受け入れることを承諾します。

年 月 日

学校名

学校長名



※必要があれば受入校園でコピーをお取りいただき保存ください。原本は学生に渡してください。

学校インターンシップ活動計画報告書

＜学生記入欄＞	大阪教育大学	課程	専攻	コース
学籍番号	名前	立	学校	
活動校名	2020年 月 日	活動開始		
活動開始日	※毎週○曜日の○時～○時など活動日時を記入してください。 ※短期集中授業の場合は○月○日～○月○日の○日間			
活動日時の予定	※予定の活動内容にチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> 授業やその準備の補助 <input type="checkbox"/> 学級経営に関わる仕事の補助 <input type="checkbox"/> 特別活動及び行事やその準備の補助 <input type="checkbox"/> 放課後指導など授業以外の指導やその補助 <input type="checkbox"/> 部活動の指導の補助 [クラブ名等：] <input type="checkbox"/> その他 ()			

1. 提出時期

① 活動計画が效まつた時点で速やかに提出してください。

例：2月当初からの活動であれば、1月末までに、9月当初からの活動であれば、8月末までに など
(通学定期が不要の場合は、受入校の校長先生の署名・捺印は不要です。)

② 通学定期が必要な学生（月12日以上活動予定がある場合は、通学定期の購入が可能です。）は、下記に受入校の校長先生の署名・捺印をむかい、活動開始の1か月以上前に教育実践支援ルームで所定の手続きをしてください。なお、通学定期の使用は学校インターンシップでの活動に限ります。

2. 提出先：教育実践支援ルーム

上記の者が、月に12日以上、本校で活動することを承認します。

年 月 日

学校名

学校長名



国立大学法人
大阪教育大学

■ 学校インターンシップに関する問い合わせ先

大阪教育大学 教育実践支援ルーム (担当: 今川・水本) 取扱時間: 8:30~17:15 (土・日・祝除く)

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1 TEL: 072-978-3416, 4034 FAX: 072-978-4018

E-mail: epsroom@cc.osaka-kyoiku.ac.jp